

2021年3月14日 (No50)

レント第4主日礼拝

司会：早坂 潔 奏楽：五味 櫻子

- 前奏 奏楽者
讃美歌 85 (二回) 一同
祈り 司会者
聖書 出エジプト記24章9~11節
旧約聖書134頁
マタイ福音書17章1~8節
(新約聖書32頁) 司会者
讃美歌 13 (1.4.5.6) 一同
説教 「高い山の上で」
五味 一 牧師
讃美歌 288 一同
献金と感謝の祈り 一同
主の祈り 62
頌栄 キリストの平和が (1.5) 一同
祝福 一同
報告

【今週の集会】

◇一緒に聖書を読み祈る会 カフェ・ぶらぶら
3月17日(水) 午後7時
ゼカリヤ書6章9~15節
(旧約聖書1485頁)
讃美歌 300、309

【次週の予定】

◇レント第5主日礼拝
3月21日(日) 午後2時 カフェ・ぶらぶら
聖書 創世記25章29~34節
(旧約聖書39頁)
マタイ福音書20章20~28節
(新約聖書39頁)
分かち合い礼拝 聖書の言葉と一週間
みんなで
讃美歌 16、471

【来週の礼拝司会者を決めましょう】

- ① 和田智子 ② 広瀬秀幸 ③ 秋山里子
④ 佐々木実 ⑤ 吉田公子 ⑥ 伊藤知之 ⑦ 山根耕平 ⑧
岸澤恵美 ⑨ 高崎晋 ⑩ 山本潔 ⑪ 早坂潔

【集会統計】

Table with 3 columns: 集会名, 参加者, 献金. Rows include 主日礼拝 (3月7日), 祈禱会 (3月10日).

《教会員等の動き》

・向谷地生良 この3月で北海道医療大学を定年退職され、名誉教授の称号を授与されます。4月からは特任教授として講座を持たれます。

♪ 本日の讃美歌 ♪

♪ 讃美歌13 「みつかいとともに」。作詞はイギリス人のエドワード・ポロネー(1726-92)。非国教会の独立教会の牧師を務めました。作曲はアメリカ人オリヴァー・ホールデン(1765-1844)。不動産業を営む傍ら牧師を務めました。

讃美歌288 「恵みにかがやき」。作詞はアイルランド生まれのエドワード・デニー(1796-1889)。「千年王国」説を信じる団体に属していました。「千年王国」は、世界史の終わりに到来する黄金時代で、正しい人だけが復活して幸せな時代が地上に千年間続くとするもの。歴史の中で急激な社会的変動や危機的状況が起こると、社会不安を背景に千年王国説がさまざまなかたちで起こってきました。19世紀、北アメリカで起こったモルモン教やエホバの証人などもこうした流れをくむものです。作曲はイギリス国教会の司祭ウィリアム・ハヴァガ(1793-1870)。イギリスの代表的な讃美歌作曲家のひとりです。

◇べてる関係報告

3月17日 べてる理事会：ニューべてる

頌栄 キリストの平和が

- 1. キリストのへいわが わたしたちのころの
すみずみにまで ゆきわたりますように
5. キリストのゆるしが わたしたちのころの
すみずみにまで ゆきわたりますように

新しく来られた方・久しぶりの方の紹介

【本日の集会】

- ◇主日礼拝 午後2時 カフェ・ぶらぶら
◇お茶の会 コロナウイルス感染防止のため休会

【先週の説教要旨】 「利益もないのに、神を敬うか」 ヨブ 1:1-

12

マタイ 16:3-28

ある日、主(ヤハウエ)の前に神々が集まり、そこにサタンが顔を出しました。主はサタンに尋ねた。「お前はどこから来たのかね。」サタンは主に答えた。「地上をあちこち歩き回って来ました。」主はサタンに尋ねた。「お前はわたしの僕ヨブに気づいたかね。地上のどこにも彼のように完全で、正しく、神を恐れ、悪を遠ざけている者はいないが。」するとサタンは答えた。「彼が利益もないのに神を敬うでしょうか=理由なしに神を畏れるでしょうか」と、疑いをはさみました。

ヨブ記は、まずヨブという人物の紹介からはじめます。この人物、二人としない「良い人」です。完全で、正しく、神を恐れ、悪を遠ざけていました。7人の息子と3人の娘に恵まれ、羊7千匹、らくだ3千頭、牛5百頭、雌ろば5百頭の家畜を持つ財産家で、多くの人々に尊敬されていました(ヨブ1:-3)。ヨブは、突然、理由もなく財産、家族、健康を次々と奪われ、終にはその惨状を見ていられない妻が死をすすめるほどでした。

ヨブ記は、ある人たちにとっては親しみやすく、他の人たちにとってはとっつきにくい書物です。人間である以上、苦難のない人はいません。苦難はすべての人にあてはまります。ですから、自分と重なります。でも、ヨブが“なぜこんな目にあうか”、ヨブの3人の友人とエリフ、そして神(ヤハウエ)との話し合いはとっつき難いです。理屈っぽくて嫌になります。

ヨブの物語は非常に古く、イスラエルが誕生するより前のものです。バビロニアやエジプトの古代物語にも似たものがあるといわれています。そこには古い時代から“なぜ正しい人が苦しむのか”という素朴な問題が繰り返されていることがわかります。果たして人間の苦しみは罪=神への背信、悪行の報いなのか、神が人間を苦しめるのか、もしそうだとしたらなぜ苦しめるのか、ヨブ記を読む者は、登場人物に自分重ねながら格闘します。

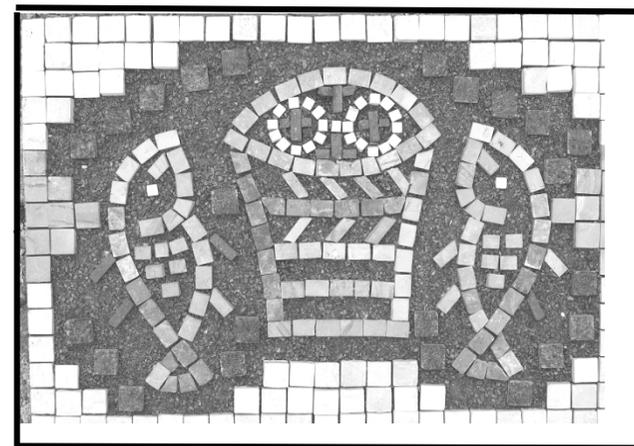
神が、ヨブの非の打ちどころのないことを無視して、苦難を与えたということは、苦難は悪いことをしたから報いを受けるという「応報の原理」を超えるものであることを意味します。苦難は理由なしに与えられ、その解消も理由なしに行われています。結局、「人はなぜ苦しみを負うのか」答えを持ち合わせていません。人間は神ではないからです。にもかかわらず、神の恵みの中にあることを告げているのは確かです。

ここに、「利益もないのに、神を敬う」=ご利益宗教を超えた不思議な世界が実現しています。信仰=神の国=は損得を超えた**神のプレゼント**です。

日本キリスト教団浦河教会

週報

No.50 2021年3月14日



教会創立 1956年

〒057-0022

北海道浦河郡浦河町昌平町東通 32

電話 (FAX) 0146-22-2904

牧師 五味 一

電話 (FAX) 0146-26-3043